

Aeronautical Safety College  
**GUIDE BOOK**  
**2022** 国土交通省 航空保安大学校

# 「大空の安全を支える」

航空保安業務のスペシャリストを養成する  
我が国、唯一の教育訓練機関

大空を高速で三次元で飛行する航空機。航空交通が安全に秩序正しく、かつ、効率的に運航するためには外部からの支援が必要です。それが「航空保安業務」であり、国土交通省航空局の航空保安職員がこの業務に従事しています。

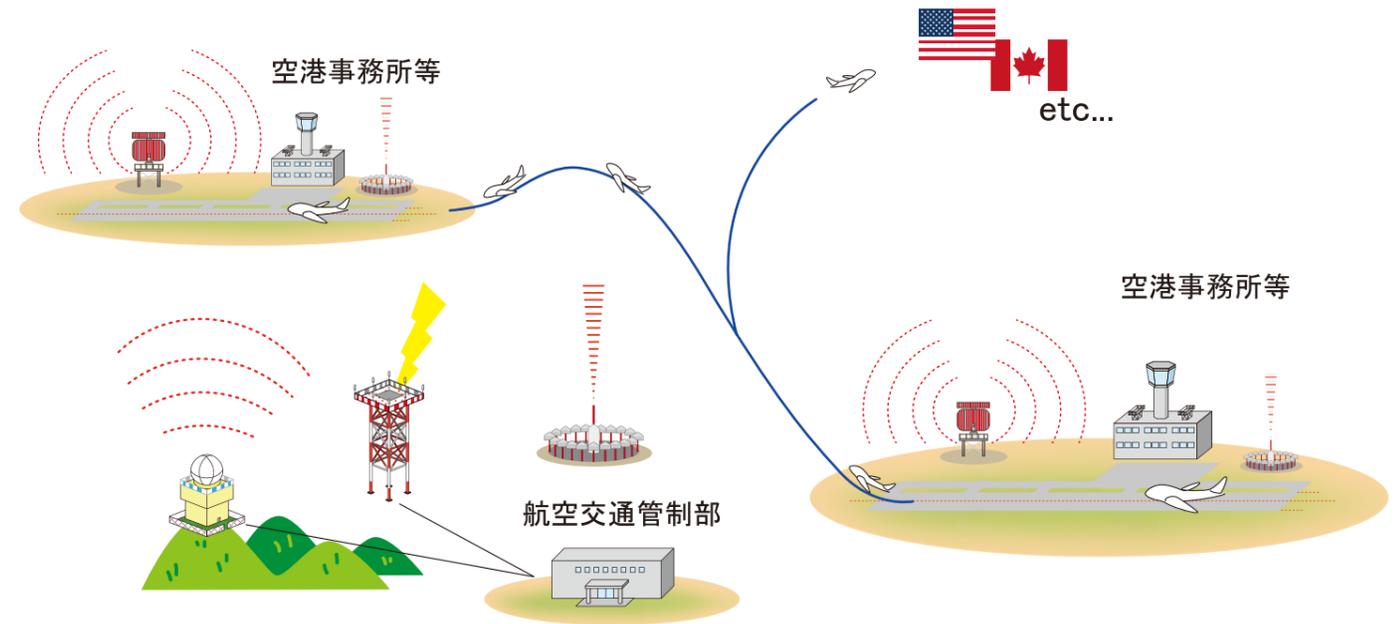
空の安全を地上から支える航空保安職員となるためには、高度な知識と技術を身につける必要があります。航空保安大学校は、航空保安職員となるために必要な基礎的な知識と技術を身につける基礎研修を行っています。航空保安大学校で研修を履修した職員は全国の航空官署で、航空管制官、航空管制運航情報官、航空管制通信官、航空管制技術官等として空の安全を支えています。

国土交通省 航空保安大学校



# 国土交通省航空保安大学校修了後に従事する職員の職種

航空保安大学校の修了生が従事する職種は、次のとおりです。  
航空管制運航情報官、航空管制技術官、航空管制官として、  
全国各地の航空官署で航空の安全を支える業務に従事します。



## 航空管制運航情報官

航空機の運航を支援するため、無線電話によるパイロットへの必要な情報の提供、飛行計画の受理、空港の管理、行方不明になった航空機の捜索救難を始めとした、航空機の安全かつ円滑な運航を担う様々な業務を行います。

### 航空情報科

P5 ~



## 航空管制技術官

無線電話・レーダー等の管制施設や、航空機が悪天候時においてもその航行を可能とする航空保安無線施設などの運用と維持管理を担当するエンジニアです。先進の各種電子システムの設計・開発に携わる業務も行います。

### 航空電子科

P10 ~



## 航空管制官

航空機相互間及び航空機と障害物との安全間隔を設定し、航空交通の秩序ある流れを維持促進するために、航空路などを飛行する航空機に対して無線電話やレーダーを用いて必要な指示を与えます。

### 航空管制官

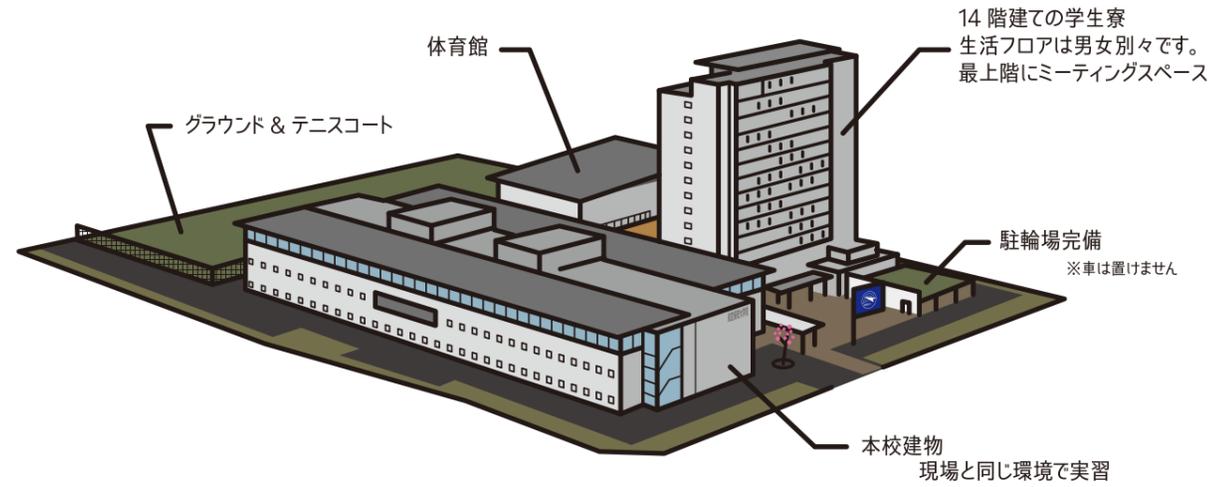
P19 ~

## 航空保安大学校の沿革

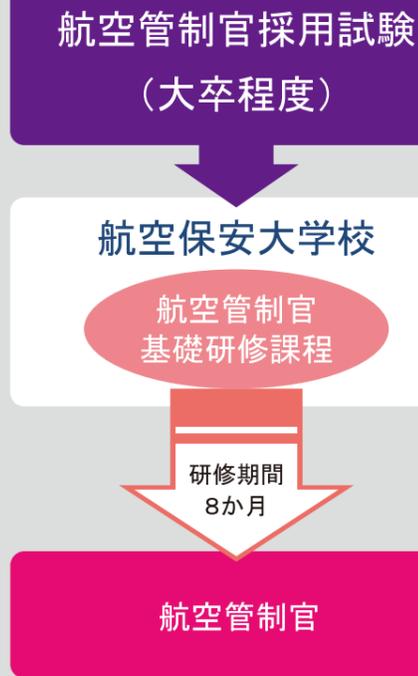
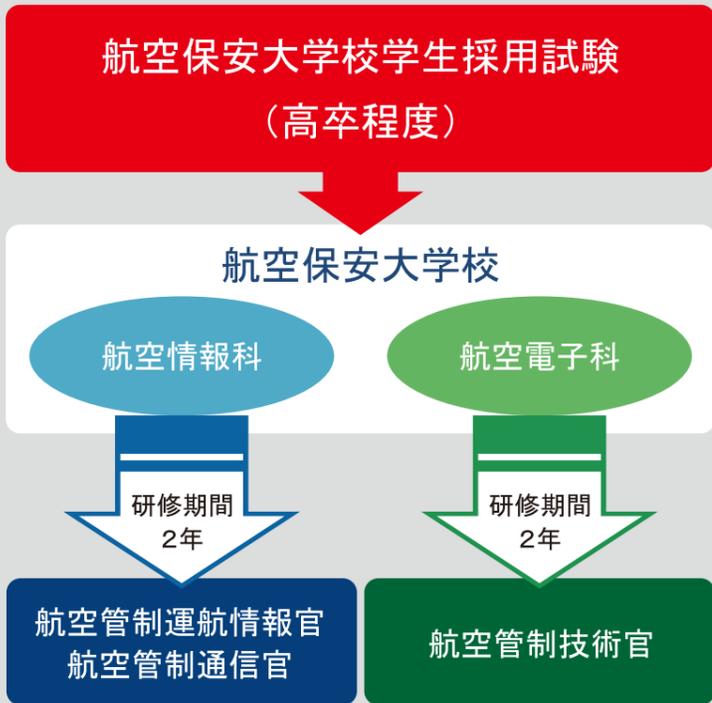
- 1959年 11月  
東京国際空港（羽田）内に「航空職員訓練所」を開設
- 1965年 6月  
航空局技術部に「航空保安職員訓練センター」を設置
- 1967年 7月  
旧運輸省附属機関となり、「航空保安職員訓練所」に改称
- 1969年 4月  
本科（航空管制科、航空通信科（現航空情報科）、航空電子科）の研修を新校舎（羽田整備場地区）において開始
- 1971年 5月  
「航空保安大学校」に改称
- 2008年 4月  
羽田からりんくうタウン（泉佐野市）に移転

## 所在地





## 採用試験から航空官署所属までの進路



## 給与 (2021年12月1日現在)

航空保安大学校在学中  
【俸給月額】(行政職1級5号俸、地域手当含む)

**159,000 円程度**



航空保安大学校での研修を修了し、航空管制運航情報官、航空管制技術官として発令後(東京空港事務所の場合)  
【俸給月額】(専門行政職1級1号俸、地域手当含む)

**200,000 円程度**

プラス【諸手当】  
航空管制手当、夜間特殊業務手当、夜勤手当、休日給、扶養手当、通勤手当、住居手当等

下記の他に期末・勤奨手当(いわゆるボーナス)が他の国家公務員と同様に支給されます。

## 講義・実習



授業料・教材費は不要です。



## 学生寮



寮費は無料です。



学生寮個室



学生寮14Fミーティングスペースでの自習風景

学生寮には、航空情報科、航空電子科の学生だけでなく、航空管制官基礎研修生なども入寮します。

研修修了後の職場では、他の職種との業務上の接点が多いことから、研修期間中に相互の交流を深めています。

## 授業風景



航空情報科では、航空機の安全運航を支えるために必要な幅広い基礎知識と技能を身につけます。数学、物理学、法学、心理学などの一般教養を学ぶとともに、社会教養では社会人として基本的なビジネスマナーを身につけながら、空のルールの基本となる国内外の航空法規をはじめ、航空機概論、航空航法、飛行計画論、航空気象学、航空情報業務論や業務用英語など幅広い分野にわたる専門科目を履修します。

また、空港などで実際に業務に就く際に不可欠な無線従事者の国家資格(航空無線通信士)及び航空管制等英語能力証明の取得のために必要な科目を学びます。

座学で得た基礎知識をもとに、運航援助、飛行場対空援助、広域対空援助及び管制通信の各業務の実習を行い、業務に必要な基礎的な技能を身につけます。実習では飛行計画や航空機の交信内容などの情報を入力するシステム端末や南紀白浜空港をモデルにしたシミュレータを用いて、パイロットから通報される飛行計画の審査・受理、航空機の運航監視や無線電話による航空機への情報提供などを学びます。2年の後半には各業務の実習を連携させた実践的な総合実習を行い、実際の業務の感覚を培います。

また、2年間の授業や寮生活を通して、航空管制運航情報官に欠かせないコミュニケーション、チームワーク、協調性などのスキルも身につけます。

## 航空機に情報提供する訓練をしています。



英語及び一般教養科目のほか、航空法や国際法の授業があり、許可や承認を行う立場として各条文の成り立ちや解釈について学びます。



授業では講義を受けるだけでなく、学生自らパワーポイントで作成した資料を基にプレゼンテーションも行います。

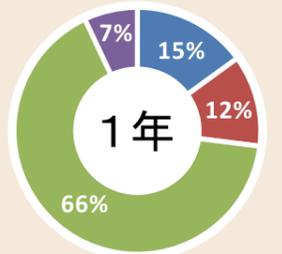
### 航空情報科1年：航空機の運航や通信についての基礎知識習得が主体

- ◆ 一般教養：数学、物理学、法学、心理学、社会教養、保健体育
- ◆ 外国語：英語、英会話
- ◆ 専門科目(学科)
  - ▶ 法規系：国内航空法規、国際航空法規、電波法規など
  - ▶ 航空業務系：運航情報業務概論、飛行計画論、航空通信業務論、航空情報業務論、飛行場情報業務論、対空援助論、航空航法、航空気象学、航空管制概論など
  - ▶ 工学系：航空機概論、無線工学、ITインフラ概論、ヒューマンファクター、航空無線施設概論、航空灯火概論など
- ◆ 専門科目(実技)
  - ▶ データ通信操作演習、運航援助演習1など

### 航空情報科2年：運航支援についての知識・技能の習得が主体

- ◆ 一般教養：保健体育
- ◆ 外国語：英語、英会話
- ◆ 専門科目(学科)
  - ▶ 航空業務系：運航監視論、許認可論、危機管理論、航空情報運用論、運航監督概論、飛行場情報運用論、管制通信論、計器進入方式、業務用英語、飛行場管制論、レーダー管制論、航空路管制論など
  - ▶ 工学系：ヘリコプター概論、プロジェクトマネジメント基礎、ネットワーク応用など
- ◆ 専門科目(実技)
  - ▶ 運航援助演習2、航空情報演習、飛行場情報演習、飛行場対空援助演習、広域対空援助演習、管制通信演習、総合実習など

### 授業科目の割合



■ 一般教養  
■ 外国語  
■ 専門科目(学科)  
■ 専門科目(実技)



### 校外研修



航空管制運航情報官が働いている空港などの現場へ出かけ、実際の業務内容について学習する他、運航関係者等への現場見学を通じて、航空全般に関する知識を広げます。

航空機の安全運航に欠かせない「あらゆる情報を管理する」それが「航空管制運航情報官」です。システム、電話、無線などを活用し、関係する多くのセクションを連携させる役割を担っています。

運航情報官が取り扱う様々な情報は、飛行計画等の運航情報、気象情報、滑走路やスポット等の空港運用に関する情報など極めて多くの分野に及びますが、それらを的確に収集・管理するとともに、必要とするセクションに確実に伝達・提供することで、空の安全・安心を多方面から支えています。

航空管制運航情報官としての業務の他にも、洋上を飛行する航空機への情報提供を担う東京国際対空通信局や航空機乗組員へ提供される情報を一括管理・発行する航空情報センター、全国各空港の駐機場(スポット)の効率的運用の支援とともに国際・国内航空通信業務の拠点となる航空交通管理センター、国土交通省などでの企画・立案、国際会議でのルールメイク作業を含め、様々な活躍の場が用意されています。



運航援助情報業務 飛行計画の審査、運航の監視、捜索救難等



対空援助業務 空港及びその周辺の航空機に対する情報提供



飛行場情報業務 滑走路・駐機場(スポット)等の管理運用



ランブインスペクション 駐機中の外国航空機への立入検査



航空情報センター(成田)



東京国際対空通信局(成田)

## 現場VOICE



川島 洋子  
(1988年度採用 20期)  
所属:航空情報センター

### 情報を扱うフロとして、 経験をフルに活用しています。

航空情報センターは、我が国唯一の航空情報機関として、航空機が安全に運航するために必要な空港、航空路や飛行方式、障害物などの詳細やその運用状態を、運航者や関係機関等に提供しています。また、ヘルプデスクを設置し、国内外の航空情報利用者や空港管理者からのご質問にお答えするほか、ご意見ご要望を頂戴し業務の改善につなげています。航空情報として取扱う内容や問い合わせは多岐にわたるため、運航の援助、飛行場運用、運航許可など運航情報官の幅広い業務経験や知識が必要であり、且つ活かせる職場です。

最近では、航空図の作成やウェブ地図を使用したビューアサービス提供のため、GIS(Geographic Information System:地理情報システム)も導入しました。航空情報センターは、現在、システムにより必要なすべての航空情報を活用可能な環境を運航者や関係機関等に提供できるよう、航空情報のデジタルデータ化やサービスの拡充に向け取り組んでいるところです。



井澤 栄  
(1992年度採用 24期)  
所属:関西空港事務所

### 運航援助情報業務の一環として、 保安大修士の資格取得の訓練も行っています。

2021年10月より、航空機の運航に関する業務を集中的に全国2か所の運航拠点(東京FAIB\*、関西FAIB\*)で実施しています。そのうち関西FAIBは西日本の運航拠点として関西空港事務所航空管制運航情報官により実施し、幅広い業務を専門的にサポートしサービス向上に努めています。

私は空にここがれて航空保安大学の門をたたき、その後北海道や沖縄の空港、航空情報センター(千葉県)、岩沼研修センター(宮城県)で勤務しました。関西FAIBではこうした経験を活かして、かつての同僚や研修生とともに、始まったばかりの拠点業務の一翼を担っています。

航空保安大学校は関西空港の対岸にあります。魅力あふれる教官のもとで公務員として学びながら寮生活をおくります。

修了後は運航情報官として、国際会議で活躍する業務、航空機と交信する業務など多様な仕事があります。皆さんがときめく仕事にきつと出会うことでしょう!

\* FAIB: Flight & Airport Information BASE FAIBはファイブと読みます



平松 秀隆  
(2002年度採用 34期)  
所属:システム開発評価・  
危機管理センター

### 現場での業務経験を システムの開発に生かしています。

車、船、飛行機、たくさん移動手段ある中で、飛行機がいいなという単純な気持ちから航空の仕事に興味を湧きました。そんな折、航空保安大学校の存在を知り受験、現在に至っています。

いま私はシステムの開発評価に携わっています。この仕事は空港現場等で働く運航情報官のみならず、管制技術官や管制官の業務を下から支え、安全なフライトを実現する重要なものです。今やシステムは必要不可欠な存在で、人に負荷をかけず、大量の情報を迅速かつ正確に処理することが求められます。そのため日々試行錯誤しながら開発評価し、安定したシステムを空港現場等に届けています。裏方で目立たないものの、日ごろからあらゆるケースを想定して選択肢の幅を増やし、課題解決までのアプローチを用意しておくことが大切ですし、完成させた新システムが無事動き出したときはものすごい達成感です。また航空保安大学校の航空電子科出身である管制技術官や管制官の経験者と同じ部屋で仕事をするので、仲良くなれることも魅力の一つです。

これから皆さんが歩む道が、生涯記憶に残る素敵なフライトになることを願っています。



鬼頭 愛莉  
(2012年度採用 44期)  
所属:成田空港事務所

### 赴任地での新たな業務や 生活、出会いは貴重な経験となります。

幼少の頃から航空業界に憧れがあり、進路を探していくなかで航空保安大学校という存在を知り、幅広い分野で活躍している航空管制運航情報官に魅力を感じました。

現場赴任後は、仙台空港にて航空機の運航の監視や滑走路の点検など、航空機の運航に関する業務に従事し、現在は全国で唯一、成田空港にて業務を行っている航空管制通信官として太平洋上の航空機へ無線を通して情報提供を行っています。情報の提供は国際線の航空機に対するものが主ですが、自衛隊や米軍と交信することもあります。様々なシチュエーションに遭遇し緊張することもあります。日々学び、チームで協力しながら航空機が安全に飛行できるよう心掛けています。

とてもやりがいのある仕事なので、いつの日かみなさんと現場でお会いできる日を楽しみにしています!

航空無線通信士の資格や航空管制英語能力証明の取得に必要な科目を始め、航空機や空港に関する専門的な知識まで、航空管制運航情報官に必要な基礎知識・技能を習得します。



現役学生 VOICE

情報科53期 平山 和輝

空の仕事ってカッコいい、初めはそんな漠然とした理由で目指した航空管制運航情報官の仕事でしたが、研修で多くの知識を身に付けていくにつれ、業務の幅広さや関わる人の多さを知り、ますます目指すものの存在の大きさを感じています。私自身、ほとんど航空の知識のない所からのスタートでしたが、同期と助け合いながら、楽しく研修を受けることができます。また、教官方は専門知識だけでなく、国家公務員として身に付けるべき教養、現場に必要な心構えなど、航空管制運航情報官の先輩としても多くのことを教えてくださいました。

航空管制運航情報官になるという明確な目標を持って高いモチベーションで2年間を過ごすことができる、それがこの学校の最大の魅力です。生活環境も良く、寮生活もとても充実しています。夕日をバックに閑空から飛び立つ飛行機の姿を毎日見ることができるのもこの寮ならではの魅力です。

航空管制運航情報官として、航空のプロフェッショナルになって共に空の安全を守る仕事をしませんか。

電子工学、コンピュータ、ネットワーク等の電子・IT系の基礎知識から、実務で必要な無線工学、航空管制システムの理論・実技、航空関係業務の知識を習得します。



現役学生 VOICE

電子科53期 山元 春花

私は、飛行機に関わる仕事がしたいという単純明快な動機で航空保安大学校に入学しました。

航空電子科の学生は「航空管制技術官」という、飛行機の安全な運航を主に技術の面で支える業務に就くため日々の研修に励んでいます。一口に「航空管制技術官」と言っても、その業務内容は非常に多岐にわたります。私もまだまだ勉強しなければならないことはありますが、それが大変でも面白いくらいだと思っています。

社会人であるという責任は伴いますが、これから共に業務に取り組むことになる同期や先輩、そして上司である教官方と2年間かけてしっかりと研修を受けられるのは他の進路にはないとても魅力的な点だと思います。

この学校で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



現役教官 VOICE

航空情報科教官 藤川 知子 (1997年度採用 29期)

航空管制運航情報官の業務は非常に幅広く、勤務する職場によっても異なるうえ、刻一刻と変わっていく状況にも臨機に対応していかなければなりません。そのなかで皆、航空機の安全運航を支えたいという共通の信念と責任感をもって日々邁進しています。

私自身、航空のことはほとんど分からず入学しましたが、多種多様な職場で働き、先輩方から温かく指導いただき経験を積み重ねていくうちに、空港運用の要となるこの職種の醍醐味がわかってきました。いまは教官という立場から、この仕事のやりがいや奥深さ、そして面白さを学生に伝える一方、学生からは初心に返る大切さも教えてもらっています。

ここ航空保安大学校で学んだ知識や苦楽を共にした仲間はずっと生涯の財産になります。いつか私たちと一緒に空の安全を守る職場で活躍してみませんか？



53TH MEMBER

情報科先輩からのメッセージ  
やりがいのある研修、  
仲間と支え合い楽しく  
学ぶことができます！



現役教官 VOICE

航空電子科教官 岩本 浩平 (2002年度採用 34期)

航空管制技術官は空の安全を支えるエンジニアです。

一口にエンジニアと言ってもその業務内容は多岐に渡っており、システムの開発や評価、メンテナンスなど、空港だけではなく様々な場所、立場から空の安全を支えています。

20年前、どんな仕事をするのかも分からないまま飛び込んだこの仕事ですが、多種多様な職場で働き、色々な経験をしていくなかで、縁の下の力持ちであるこの仕事の魅力に気が付き始めました。

教官という立場になった現在は、この仕事のやりがいや面白さを学生に伝えていきたい。そんな気持ちで日々を過ごしています。

航空電子科の研修では、経験豊富な先輩教官はもちろん、航空局内外の多くの関係者から知識を学ぶことができます。

皆さんぜひ入学して、空の安全を支える航空管制技術官の一員になってみませんか。

私たち教官は現場での経験も活かしながら、皆さんの研修を全力でサポートします。



53TH MEMBER

電子科先輩からのメッセージ  
楽しい授業の様子を  
Youtubeで公開しています！



みてね！！

## 授業風景



航空電子科では、航空機の運航や航空管制の現場で使われる様々なシステムに関する広範な知識や技術を身につけるための学習をします。数学、物理学、法学、英語などの一般教養科目に加え、電子工学、電磁気学、コンピュータやネットワーク等の工学系の基礎知識を学んだ上で、航空保安業務に直結する通信・航法・監視システム、管制情報処理システム等の理論・実技及び航空業務などの専門科目について履修していきます。

これらの研修では座学講義だけでなく、基礎的な理論や技術を自身のものとするための演習や実験をはじめとして、修了後に即必要となる技能を習得するため、実際に空港や航空交通管制部に設置されている無線施設や測定器などを使った実習も行います。

また、航空保安業務で使われる通信・航法・監視システムの多くは電波を使用したシステムであることから、無線従事者の国家資格を取得するための学習も行い、研修修了までに第二級陸上無線技術士以上の免許を取得します。

航空電子科の学生は、航空機が安全で効率的に飛行するために必要な「航空保安システム」をテクノロジーで支えるエンジニア「航空管制技術官」となるべく、ここ航空保安大学校で学びます。また、2年間の研修期間を通じて、航空管制技術官として、また、社会人として欠かせないコミュニケーションやチームワークなどのスキルも身につけます。

## GPSを使用した測量作業の実習中です。



航空系学科の基礎知識に繋がる電気磁気学や電気回路学を1年次において学習します。大学の講師をむかえ授業を行っています。

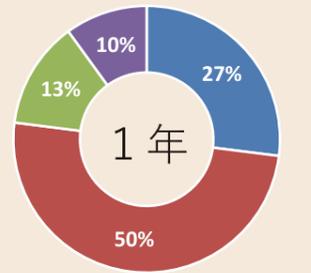


航空管制技術官が働いている様々な現場へ出かけ、実際の業務内容について学習するほか、エアライン等の見学を通じて、航空全般に関する知識を広げます。

### 航空電子科1年：電気・電子、情報処理の知識習得が主体

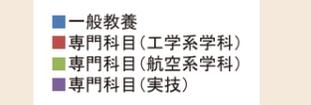
- ◆ 一般教養：数学、物理学、心理学、法学、保健体育、社会教養、英語初級（リーディング・グラマー・コミュニケーション）など
- ◆ 専門科目（工学系学科）
  - ▶ 電気・電子工学系：無線工学概論、電気磁気学、電子回路、半導体・電子管、無線機器学、空中線理論・電波伝搬理論、無線工学演習（無線従事者国家試験対策）など
  - ▶ 情報工学系：コンピュータシステム基礎、情報通信理論など
- ◆ 専門科目（航空系学科）
  - ▶ 管制技術：航空管制システム概論など
  - ▶ 航空業務・法規系：航空管制概論、運航情報業務概論、飛行場概論、電波法規、航空機概論など
- ◆ 専門科目（実技）
  - ▶ 電気電子計測、電子基礎実験など

### 授業科目の割合



### 航空電子科2年：航空管制システムのエンジニアとしての基礎技術習得が主体

- ◆ 一般教養：保健体育、英語（リーディング・グラマー・コミュニケーション）など
- ◆ 専門科目（工学系学科）
  - ▶ 電気・電子工学系：無線機器学、空中線理論・電波伝搬理論、無線工学演習（無線従事者国家試験対策）など
  - ▶ 情報工学系：情報ネットワーク理論・演習など
- ◆ 専門科目（航空系学科）
  - ▶ 管制技術系：管制技術業務概論、航空通信システム理論、航法システム理論、着陸システム理論、監視システム理論、管制情報処理システム概論、飛行検査概論、航空衛星システム概論など
  - ▶ 航空業務・法規：航空気象概論、航空灯火電気施設業務概論、国際航空法規、国内航空法規など
- ◆ 専門科目（実技）
  - ▶ 情報処理実技、Linux 実技、プログラミング実習、航空通信システム実技、航法システム実技、着陸システム実技、監視システム実技など



### 実習交流



航空管制技術官は、航空管制官、航空管制運航情報官および航空管制通信官との密接な業務連携を必要とします。このため、学生が主体となって他科と実習交流を行い、業務内容を学びます。（左：電子科2年から管制科へ、右：管制科から電子科1年へ）

十分な安全性のもと、数多くの航空機が効率的に運航するためには、地上の支援が必要不可欠であることから、日本全国に様々な管制システム(通信装置、レーダー、情報処理システム)及び航法システムが配置されています。「航空管制技術官」はこれらのシステムを支えるエンジニアであり、その業務はシステムの運用監視、技術操作、機能診断、点検整備といった維持・管理を行うだけでなく、日常の点検において取得したデータを分析し改善を重ねることで、更に信頼性の高いサービスの提供を追求するものです。

また、新しい技術を導入するための開発・評価や、専用の航空機で電波の状態を検査する飛行検査業務も航空管制技術官の仲間が行っており、国土交通省などでの企画立案部門も含め、活躍の場は広い範囲に及びます。



計器着陸装置 滑走路へ進入する航空機を電波で誘導



航法システム 航空機に方位、距離情報を提供



航空路監視レーダー 日本中の航空路(空の道)を監視するレーダー



統合管制情報処理システム 航空路管制に使用されている機器の運用管理を行っている。



点検・保守作業 システムを万全な状態に維持



システム統制 管轄する空港等のシステムの運用状況を監視

航空電子科では、電子工学、情報処理、航空保安業務、管制システム、航法システムの基礎知識を習得するとともに、在学中に第二級陸上無線技術士以上の国家資格を取得します。

研修修了後は空港等訓練官署に赴任し、OJT(実地訓練)を受けた後、技能証明試験に合格して航空管制技術官に任命されますが、その後も各種専門技術に関する研修・上級研修などが設けられており、生涯にわたりスキルアップを続けることができる仕事です。

## 現場VOICE



西 紫  
(2018年度採用 50期)  
所属:東京空港事務所

### 航空の安全を支える やりがいのある仕事です。

私は東京空港事務所にて24時間の交代制勤務の航空管制技術官として働いています。  
航空機の着陸に用いるILSや、航空機の位置を監視するレーダーなど、安全な運航に欠かせない施設やシステムの維持管理を行っています。  
羽田空港は、施設もたくさんあり、仕事内容はとても幅広く、学ぶことの多い職場ですが、専門的な知識や技術により航空の安全を支える仕事であり、とてもやりがいがあります。  
皆さんもぜひ一緒に航空管制技術官として働いてみませんか。



西田 直樹  
(1995年度採用 27期)  
所属:航空交通管理センター

### システムで日本の空の 安全で効率的な運航を支えます。

航空交通管理センターは、全国の空港、自衛隊、航空会社、外国管制機関などと連携し、航空機の安全かつ効率的な運航のための業務を担う機関であり、そこで働く私たち航空交通管理管制技術官は、それらの業務に必要なシステムの維持管理を行っています。  
私の担当しているSE(システムエンジニア)は製造メーカ、管理管制官、管理運航情報官や開発評価部門などと協調し、システム障害時の対応やプログラムの変更に伴う様々な調整を行っています。  
現在のシステムは、ほぼソフトウェアで作られていると言っても過言ではないため、その辺りの知識に乏しい私としては苦勞の日々ですが、問題を解決出来たり、順調に業務を終えた時には、やりがいや達成感も感じられる仕事です。  
皆様も航空交通管理センターと一緒に働いてみませんか。



大町 涼子  
(2010年度採用 42期)  
所属:飛行検査センター

### 空から 航空の安全を守っています。

飛行検査センターでは、専用の検査機に搭乗し、地上の無線施設を空から検査することで施設の機能性を確認し、空の安全を守っています。  
管制技術官とは違う目線で業務を行うので、新たな発見を得ることができますし、また、パイロットや整備士等様々な職種の方々と一緒に働くことで、日々新しい刺激に出会うことができます。何より全国を飛び回る充実感、飛行機好きにはたまらない職場です。  
あなたも飛行検査センターと一緒に空を飛んでみませんか?



伊達 生真  
(2011年度採用 43期)  
所属:性能評価センター

### 宇宙から日本の空を 見守っています。

私が勤務している性能評価センターでは、人工衛星を利用した航空管制サービスの提供に必要な装置の運用を行うとともに、航空管制の必須要素であるC(通信)・N(航法)・S(監視)各分野において提供されている航空管制サービスの品質性能を監視・分析・評価し、安全性及び運航便益の向上に寄与しています。  
他官署では経験できない衛星に関連する業務に携わることができ、やりがいを感じます。  
皆様も航空管制技術官として性能評価センターと一緒に働いてみませんか。

# イベントカレンダー

[現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの一部を中止しています。]

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

●入学式

●体育交流

●空の日・  
オープンキャンパス

●校外研修

●体育大会  
●実習交流

●体育交流

●オープンキャンパス  
●修了式



航保大はここで〜す

航保大はりんくうタウン駅から徒歩5分  
近隣にはアウトレットモールや  
スーパー・家電量販店・ホームセンター等  
商業施設がたくさんあります！



**食堂スペース**  
平日お昼は、お弁当を販売しています。  
持ち込みもOKです。

各7フロアには  
共同の炊事場、  
洗濯機・乾燥機完備



打ち上げ花火  
寮からみえます！！



**クラブ活動**

新クラブ発足も可能です。



# よくある質問 Q&A



## 航空情報科に関する質問

- Q** 航空管制官と何が違うのですか？
- A** 対空援助業務といて、管制塔で航空機に情報提供を実施する仕事がありますが、航空管制官ではありません。航空管制官は航空機を誘導して、安全運航を支える仕事ですが、航空管制運航情報官は、航空機が安全運航の判断をするための情報（気象、周辺の航空交通状況）等を伝達して安全を確保しています。
- Q** 航空管制運航情報官になりたいです。
- A** 航空情報科の研修修了後、全国の空港に配属され、OJT（実地訓練）を含む専門研修を行い、技能証明試験に合格して、初めて航空管制運航情報官に任命されます。
- Q** 航空管制通信官になりたいです。
- A** 航空管制運航情報官としての経験を積んだ後に、航空管制通信官として国際対空通信局に配属されることがあります。この業務は日本では成田空港のみで実施しているため、全員が経験できる訳ではありません。また、航空管制通信官としてずっとその業務をするのではなく、様々な官署で経験を積むことが求められます。

## 航空電子科に関する質問

- Q** 航空管制技術官は、管制システムの装置などを作るのですか？
- A** 航空管制技術官の中には、装置やシステム的设计・開発に携わったり、データを分析してシステムを改良する業務に就くことがあります。ただし、航空管制技術官が自ら装置を製作したり、システムのプログラミングを行ったりすることはありません。
- Q** 航空機の装置も点検整備するのですか？
- A** 航空管制技術官は地上の管制システムなどの運用監視、操作、点検整備をしますが、航空機に装備される装置については行っていません。航空電子科では、地上システムが航空機側でどのように利用されているかの学習は行っています。

- Q** 学位取得は可能ですか？
- A** 学位取得はできません。採用後は国土交通省職員となります。航空保安大学校のカリキュラムは、一般の大学と違い、航空の安全を守るための職員を養成するための研修コースとなります。

- Q** 本校に入学してから、コースの変更は出来ますか？
- A** 入学後に変更することは出来ません。各科によって採用試験の学科試験の内容が異なっており、また、身体測定の内容も異なっています。各科それぞれの異なった採用試験を実施し、採用していることから、入学後に変更することは出来ません。あらためて受験しなおすことになります。



詳しい内容はWEBで！

航空情報科・航空電子科のページをご覧ください。

<https://www.cab.mlit.go.jp/asc/index.html>

## エリア別出身校（2014年～2021年度採用学生：航空情報科、航空電子科）

### 東北

弘前南、宮城第一、仙台第二、弘前中央、宮城県泉館山、仙台二華、郡山、仙台第三、仙台青陵中等、東北学院、弘前、聖ウルスラ学院英智、安積、白石、米沢東

### 甲信越

長野吉田、長野工業高等専門学校、星陵、北陸学院、三条、佐久長聖、長野県本美須ヶ丘、勝山、葦山、富山、高志、高岡第一、片山学園、福岡工業高等専門学校、吉田

### 東海

名古屋大学教育学部附属、美濃加茂学園美濃加茂、一宮興道、南山、豊丘、旭野、加納、滝、菊里、富士、一宮、鶯谷、津西、春日井、愛知淑徳、恵那、明和、四日市南、川越、加藤学園暁秀、一宮西、愛知、名古屋、清水南、高蔵寺、豊橋南、津、横須賀

### 中国

砥園北、舟入、広島大学付属、呉港、鳥取西、下関中等教育、華陵、笠岡、岡山芸芸館、慶進、高森、下関西、山口、徳山

### 四国

松山西中等教育、新田、高松桜井、松山北、松山東、城東、高松北、高松商業、富岡東、高知芸芸土佐塾、松山南、高知追手前、愛光

### 九州

ラサール、筑紫丘、甲南、宮崎北、修猷館、唐津東、西南学院、致遠館、延岡、長崎日大、真和、佐賀北、春日、北筑、熊本、明善、熊本県立第二、弘学館、城南、済々黌、長崎西、東福岡、香住丘、鹿島、必由館、筑陽学園、加治木、長崎南山、九州国際大学付属、岩田、諫早、杵築、東筑、鹿児島工業高等専門学校、八幡、福岡大学附属大濠、小城、鹿児島玉龍、樟南、京都、大分上野丘、福岡、延岡星雲、福岡工業大学付属城東、宮崎南、宮崎大宮、鵬翔、宮崎第一、中村学園女子、尚志館、熊本学園大学付属、国分、大分鶴崎、宇土、大分東明

### 沖縄

開邦、普天間、那覇国際、那覇、昭和薬科大学付属

### 北海道

岩見沢東、札幌西、室蘭栄、東海大付属第四、帯広柏葉、札幌東、札幌開成、旭川東、札幌日本大学、札幌月寒、札幌第一、北海道北広島、網走南ヶ丘、札幌新川、市立函館、札幌光星

### 関東

土浦第二、光泉、所沢北、松山、川越女子、千葉東、西武学園文理、豊島岡女子学園、文星芸術大学付属、狭山ヶ丘、浦和明の星女子、佐原、千葉、柏中央、専修大学松戸、文京学院大学女子、立川国際中等教育、朋優学院、兩國、小岩、柏陽、横浜修悠館、桐蔭学園、神奈川総合、成田国際、墨田川、宝仙学園、宇都宮東、大田原、豊島学院、清泉女子学院、江戸川学園取手、日比谷、江戸川女子、横浜翠嵐、サレジオ学院、鎌倉学園、神奈川学園、小石川、桜丘、日立第一、佐倉、市立千葉、栄東、市立川崎、横浜サイエンスフロンティア、東京工業大学附属科学技術、南平、千葉西、常総学院、前橋女子、錦城、竜ヶ崎第一、市原中央、朝霞、春日部、戸山、東京学芸大学附属国際中等、開成、科学技術学園、横浜国際

### 関西

開智、開明、岸和田、久米田、高津、清教学園、大阪桐蔭、東、桃山学院、履正社、和泉、市岡、帝塚山、星陵、川西北陵、桐蔭、智弁和歌山、近畿大学付属、鳳、天王寺、桜塚、尼崎、小田、三田学園、小林聖心女子、川西緑台、近畿大学付属和歌山、富田林、牧野、兵庫県立国際、市立西宮、北野、清風、伊丹、加古川、大阪学芸、生野、泉北、清風南海、田辺、西京、嵯峨野、洛南、雲雀丘学園、兵庫県立大学付属、神戸、洲本、関西大倉、芦屋国際、向陽、四天王寺、大阪市立、金光大阪、大阪市立東、初芝富田林、東洋大姫路、千里青雲、明石北、関西大学高等部、池田、西宮守山、東大寺学園、紫野、京都橋、金蘭千里

※採用時には、既卒者も含まれますので、高校等卒業年次とは異なる場合があります。

# 採用試験の概要（2022年度）

※最新の情報については6月中旬に、改めて採用人数を人事院ホームページに掲載する予定ですので、確認してください。

## 受験資格

- 2022年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者及び2023年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- 人事院が1に掲げる者と同等の資格があると認める者

## 試験日程

- 受付期間**  
インターネット 2022年7月19日(火)～2022年7月28日(木)〔受信有効〕  
受験申込みは、インターネットにより行ってください。受験案内は、[人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報 NAVI]で確認できます。インターネット申込専用アドレスは、[ <https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html> ]です。
- 第1次試験**  
・試験日 2022年9月25日(日)  
・試験種目 基礎能力試験(多肢選択式)、学科試験(多肢選択式)  
・合格発表 2022年10月12日(水)
- 第2次試験**  
・試験日 2022年11月14日(月)～2022年11月17日(木)のうち指定する日  
・試験種目 人物試験、身体検査及び身体測定  
・合格発表 2022年12月20日(火)
- 採用決定**  
最終合格者は試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿(1年間有効)に得点順に記載されます。航空保安大学校では、この名簿に記載された者の中から、本人の成績等を考慮の上、採用のための意向調査を逐次行い、最終的に採用者(入校者)を決定します。(最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。)

## 試験地・試験種目及び方法（2021年度の例）

試験地	第1次：千歳市・岩沼市・東京都・新潟市・常滑市・泉佐野市・広島市・高松市・福岡市・宮崎市・那覇市		配点比率
	第2次：千歳市・所沢市・泉佐野市・福岡市・那覇市		
試験種目	内 容 【 解 答 時 間 】		配点比率
	航空情報科	航空電子科	
<b>&lt;第1次試験&gt;</b>			
基礎能力試験(多肢選択式)	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野 20題 [文章理解(7題)、課題処理(7題)、数的処理(4題)、資料解釈(2題)] 知識分野 20題 [自然科学(5題)、人文科学(9題)、社会科学(6題)] 計40題 【1時間30分】		1/4
学科試験(多肢選択式)	数学及び英語についての筆記試験 数学 13題 [数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトルの分野に限る。)] 英語 13題 [コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ] 計26題【2時間】	数学及び物理についての筆記試験 数学 13題 [数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトルの分野に限る。)] 物理 13題 [物理基礎、物理] 計26題【2時間】	2/4
<b>&lt;第2次試験&gt;</b>			
人物試験	人柄、对人的能力などについての個別面接		1/4
身体検査	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査		*
身体測定	色覚、聴力についての測定	色覚についての測定	*

- (注) 1 試験問題例、合格者の決定方法等の詳細については、国家公務員試験採用情報NAVI内「試験情報」→「航空保安大学校学生採用試験」をご覧ください。  
2 ( )内の数字は出題予定数です。  
3 「配点比率」欄に\*が表示されている試験種目は、可否の判定のみを行い、その他の試験種目については得点化しています。  
4 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。  
5 航空電子科では、航空保安大学校での研修において、採用試験科目以外に数学Ⅲを入学までに学習していることを前提とした講義がなされます。

## 近年の採用試験の実施結果

項目	実施年度		2020年度		2019年度		平成30年度	
	試験の区分		航空情報科	航空電子科	航空情報科	航空電子科	航空情報科	航空電子科
申込者数	327	(166)	205	(48)	314	(142)	189	(28)
第1次試験合格者数	112	(51)	99	(20)	132	(59)	108	(17)
最終合格者数	53	(31)	68	(16)	62	(34)	70	(14)
採用者数	24	(14)	26	(8)	28	(13)	30	(7)

( )内の数字は、女性を内数で示す。

8ヶ月間の研修で航空管制官になるための基礎知識及び技能並びに無線で指示をするための航空無線通信士の資格を取得します。



## 研修生 VOICE

航空管制官基礎研修課程135期 金谷 岬

大学生の頃、普段何気なく乗っていた飛行機がどのように空を飛んでいるのかに興味を持ちました。調べていくうちに空の安全を守る航空管制官という職業を知り、憧れを抱き目指すようになりました。航空保安大学校では8ヶ月の間に、座学とシミュレータを使用した実習の研修を受けています。毎日が勉強で、新しい課題が山積みです。それら一つ一つクリアしていくために、同期と学んだことや各々の課題を共有し、一緒に考え、一緒に練習をして、みんなで成長していきます。ときには航空管制官に向いていないのではないかと、くじけそうになることもあります。教官方や同期に支えられて乗り越えてきました。短い期間で多くの基礎知識を身につける必要があるため研修に追われて忙しいですが、熱心に指導して下さる教官方と同じ志を持った同期と過ごす日々はとても充実しており、一人前の航空管制官を目指すための励みになっています。現場に出て訓練を重ね、空の安全を支えるチームの一員になれる日を楽しみにしています。私たちと一緒に航空管制官を目指しませんか。



## 現役教官 VOICE

航空管制科教官  
火口 隆広  
(2006年度採用 101期)

航空管制官基礎研修とは、航空管制官を養成するための研修であり、入学してから8か月間にわたって、座学と航空管制シミュレータを活用した実習を行うことで、航空管制官としての基礎的な知識と技術を習得することを目的とした研修です。また、航空管制を行う上で必要な航空無線通信士の資格も在学中に取得します。

研修開始時点から、隙間なく組まれた研修日程に従って、日々座学と実習を行う毎日が始まります。航空に関する知識がなくても、一からじっくり学習できるカリキュラムが整っています。研修に登場する知識は、これまでに見たことも聞いたこともないようなものばかりかもしれませんが、予習や復習に追われる忙しい毎日が続くかもしれません。しかし、「管制官になるのだ！」という志を持つ同期や仲間たちと互いに励まし合いながら、そして助け合うことで、課題を確実にクリアしていき、研修が修了する頃には、入学当初では想像もできなかった知識量と技術を身につけることができます。研修修了間際には、みんな一緒に充実感に満ちた表情になっており、人間的にも一段階成長した姿を見ることが出来ます。

その日々の研修を支えてくれるのが、様々な経験を持つ教官です。時には厳しくもありますが、優しく丁寧に、魅力いっぱいの語りでたくさんのことを教えてくれます。同じ目標に向かって進む同期に対し、教官はいつでも熱い情熱で接し続けますので、これまでの人生においてかけがえのない8か月間を過ごすことができるでしょう。同期や教官との絆も強固なものとなるでしょう。航空管制官を目指す皆さんの入学を、教官一同心から楽しみにしております。



## 134TH MEMBER

りんくう公園でのボランティア清掃活動にて

管制科先輩からのメッセージ  
 苦しい時も、楽しい時も、  
 同じ目標をもつ仲間とともに、  
 助け合いながら、  
 日々研修に励んでいます。

「パイロットに安心を与える仕事」それが航空管制官です。「顔の見えないパイロットに安心感を与えることによって信頼を得る。」そのやりとりの積み重ねが空の安全を築いてゆきます。航空保安大学校における基礎研修修了後は、空港や航空交通管制部等の管制機関に赴任し、OJT(実地訓練)を含む専門研修を修了した後、技能試験に合格して初めて航空管制官に任命されます。また、空港や航空交通管制部で経験を積んだ後は、航空保安大学校等の教育機関、新たな飛行経路の設定や次世代の管制システムの開発などに携わる国土交通本省等、様々な活躍の場が用意されています。

### ■ 冷静さと責任感

～どんな時でも落ち着いて判断を下せるか～

航空管制官が無線を通じてパイロットに伝える言葉には、大きな責任が伴います。航空管制官の発する指示を受けて、お客様を乗せた航空機は飛行していきます。私たちはどのような状況においても冷静沈着に判断できるよう日々の業務で経験を重ね、常に最適な指示を与える必要があります。冷静さを保ち、責任感を持って適切な判断を瞬時に下せるよう、追求し続けられる人材を求めています。



航空路管制業務  
 空港と空港の間の空域を担当する。レーダーを用いて航空機を監視し指示や許可を与える。日本が担当する広大な空域を4つの航空交通管制部で分担する。

### ■ 協調性

～チームの一員として活躍できるか～

航空機の運航はたくさんの人々の力に支えられています。航空管制官だけでなく、航空管制運航情報官、航空管制技術官、パイロット、運航関係者、そして気象庁職員などとの連携のうえに、安全運航が実現します。常日頃より自発的に行動し、仲間とのコミュニケーションを大切にしなければなりません。チームメンバーとの調和を保ちながら、自分自身を表現できる人材を求めています。



飛行場管制業務  
 空港を中心に約9km圏内を担当する。空港にある管制塔から目視により航空機を捉え、離着陸の許可、飛行場面の移動の指示等を発出する。

### ■ 自ら学び取る力

～自己研磨できるか～

航空管制官は人事異動のために訓練と試験を受け、新たな資格を取得しなければなりません。また航空行政の変革のスピードはめまぐるしく、規定や運用方式が改正されるたび、常に最新の情報に基づいて業務を行う必要があります。変化を恐れず向上心を持ち、周りの仲間や環境から学ぶ姿勢を持ち続けられる人材を求めています。



ターミナル・レーダー管制業務  
 空港から約100km圏内を担当する。航空交通管制部から引き継いだ各方面からの到着機はここでレーダーを用いて順序よく並べられ、管制塔へと受け渡される。

## 給与 (2021年12月1日現在)



下記の他に期末・勤勉手当(いわゆるボーナス)が他の国家公務員と同様に支給されます。

航空保安大学校での基礎研修中も給与が支給されます。採用当初の給与の月額、4年制大学新卒、職歴がない場合、次のとおりです。

193,000 円程度  
(地域手当含む)

基礎研修を修了し、航空管制官として発令後(4月採用の場合)の給与の月額、東京空港事務所配属の場合、次のとおりです。

245,000 円程度  
(調整数2の俸給の調整額及び地域手当含む)

プラス【諸手当】  
 航空管制手当、夜間特殊業務手当、夜勤手当、休日給、扶養手当、通勤手当、住居手当等





Q 航空管制官には高い英語能力が必要とされますか？

A 航空管制業務を行うには、国際民間航空機関 (ICAO) が定める英語能力証明試験を定期的に受験し、一定基準以上の成績を収めなければなりません。  
緊急事態などが発生すれば、定型的な管制用語のみならず、一般的な英会話能力も必要となりますが、あくまで英語はパイロットとのコミュニケーションツールであって、他のスキルを習得することも要求されます。

Q 航空管制官には理系と文系どちらが向いていますか？

A 一概にはどちらとも言えません。航空気象や無線工学などの理数系科目、法令や英語などの文系科目など分野の違いにより得意不得意はあるでしょうが、研修生はそれぞれしっかりと勉強して乗り越えています。

Q 採用された研修生は全員研修を修了していますか？

A 基礎研修を修了するには、定められた全ての科目において合格基準を満足する必要があることから、成績不良のため修了の見込みがない場合、国家公務員としての身分を失うことがあります。

Q どのような技能が航空管制官に必要ですか？

A 航空機は自動車と違って高度差により経路が交差するので、三次元空間のイメージをしやすい人が向いています。また、複数の航空機を同時にコントロールするため、一点に集中することなくあちこちに気配りできることも大切です。それ以外にも航空機の便名や通報事項を聞いてすぐに記憶できる短期記憶能力や同時に複数の仕事をバランス良くこなす要領の良さがあると業務に役立てることができます。

Q 過去の研修生から新入生へのアドバイスなどはありますか？

A 研修生の修了時アンケートからいくつかご紹介します。

☆文系、理系、英語力の差は全く関係ありません。大事なことは謙虚に学ぶ姿勢です。

☆分からないことはそのままにせず、疑問に思ったことはどんどん調べ、質問して下さい。教官は皆、第一線で活躍している方ばかりです。そして、得た知識・経験は同期生で共有して下さい。そうすることで理解も深まり絆も深まります。Do your best!!

☆同期はとても大切な存在です。お互いに助け合い、高めあい、励ましあい、同期生がいたからこそ厳しい研修も乗り越えることができました。皆が多様なバックグラウンドを持ち、刺激あいながら切磋琢磨できる環境がここにはあります。

航空保安大学校HPと航空管制官公式HPに、情報がまだまだたくさんあります。ぜひ、チェックしてみてください。



航空保安大学校公式ホームページ

航空保安大学校

検索



タワーマン

航空管制官公式ホームページ

航空管制官 公式

検索



## 受験資格

次のうちのいずれかに該当する者

- (1) 1992年4月2日から2001年4月1日生まれの者
- (2) 2001年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
  - (ア) 大学卒の者及び2023年3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者
  - (イ) 短大又は高専卒の者及び2023年3月までに短大又は高専を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者

## 試験日程

### 1 受験申込受付期間

インターネット 2022年3月18日(金)9:00~2022年4月4日(月)[受信有効]

試験の受付期間内に手続きを行ってください。

受験案内は、次のウェブサイトを確認することができます。

人事院公式サイト 国家公務員試験採用情報NAVI  
「航空管制官採用試験」

### 受験申込みは、インターネットにより行ってください。

インターネット申込専用アドレスは、[ <https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html> ]です。

お使いのパソコンで申込手続きが可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めに確認してください。

### 2 第1次試験

- ・ 試験日 2022年6月5日(日) 8:50(受付開始) 9:20(試験開始)~18:30(試験終了)
- ・ 試験地 札幌市・岩沼市・東京都・新潟市・常滑市・泉佐野市・広島市・松山市・福岡市・宮崎市・那覇市
- ・ 試験種目 基礎能力試験(多肢選択式)、適性試験Ⅰ部(多肢選択式)、外国語試験(聞き取り)、外国語試験(多肢選択式)
- ・ 合格発表 2022年6月28日(火) 9:00

### 3 第2次試験

- ・ 試験日 2022年7月6日(水)
- ・ 試験地 札幌市・東京都・泉佐野市・福岡市・那覇市
- ・ 試験種目 外国語試験(面接)、人物試験
- ・ 合格発表 2022年8月16日(火) 9:00

### 4 第3次試験

- ・ 試験日 2022年8月25日(木)・8月26日(金)のうち指定する日
- ・ 試験地 泉佐野市
- ・ 試験種目 適性試験Ⅱ部、身体検査、身体測定
- ・ 合格発表 2022年10月3日(月) 9:00

### 5 採用決定

最終合格者は、採用候補者名簿(1年2ヶ月間有効)に得点順に記載されます。航空保安大学校では、この名簿に記載された者の中から、本人の成績等を考慮の上、逐次採用のための意向調査を行い、最終的に採用者を決定します。(最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。)

### 6 採用(予定)

採用は、2023年4月、8月及び12月に分けて行う予定ですが、その他に、先行して2022年12月に若干名を採用することもあります。採用後は、航空管制官となるため航空保安大学校で研修を受けることとなります。研修期間は、8ヶ月間です。  
※採用予定数については、人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報NAVI で確認してください。

## 欠格事項

この試験を受けられない者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
  - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
  - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
  - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- (3) 平成11年改正前の民法の規定による準禁産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)